Books for Getting a Job in the Construction Industry

ビルドALL

EDITION 2023

建設業を志すあなたはこっちから

建設業を もっと知りたい！





まちこ
東京建設業協会
オリジナルキャラクター

みんなの建設業 就活ナビ
未来を築き、社会を支える

一般社団法人東京建設業協会

企画制作：事業委員会広報研修部会

Let's Build
a Future for



Everyone!

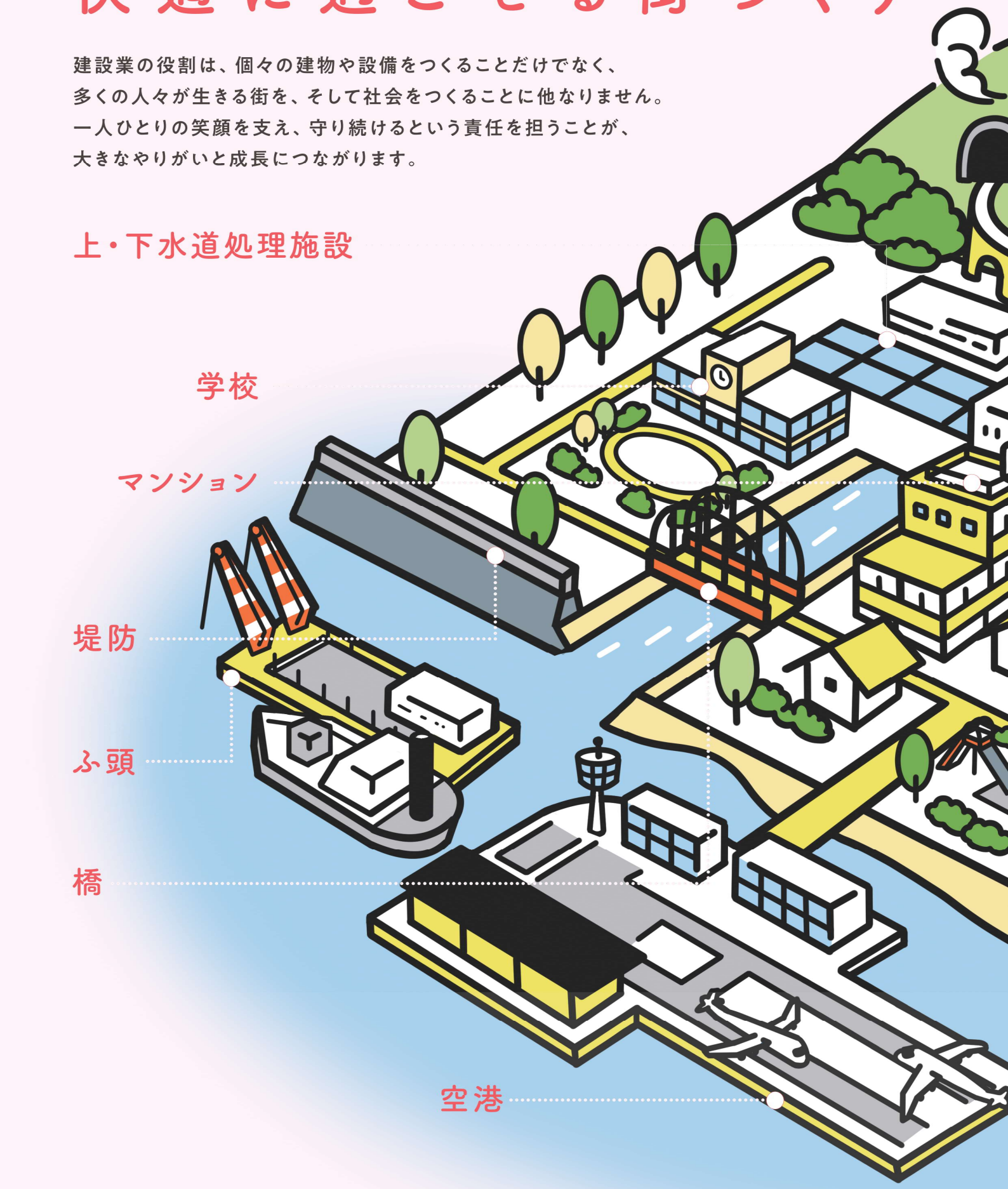
つくろう、みんなの未来を。

みんなの役に立てる仕事、
社会に貢献できる仕事をしたい…
そんな夢を叶えると同時に、
自らを成長させていけるのが建設業の魅力。
これからの社会と、
これからの自分をリンクさせながら、
豊かで充実した未来への設計図を
描いてみましょう!



誰もが安全・安心で快適に過ごせる街づくり

建設業の役割は、個々の建物や設備をつくることだけでなく、
多くの人々が生きる街を、そして社会をつくることに他なりません。
一人ひとりの笑顔を支え、守り続けるという責任を担うことが、
大きなやりがいと成長につながります。




鉄道
ダム
トンネル
砂防堰堤
オフィスビル
道路
公園
風力発電

Interview

若手社員



Rin Kaneko

ここに奮闘

スケールの大きな施工現場が着実に完成へと近づいていく喜び。

金子 倫さん

土木施工管理 | 2022年入社

「建物づくりもいいけど、道路やダム、トンネルなど、もっと大規模なモノづくりも面白いのでは?」大学進学時に先生からいただいたアドバイスが、私を土木の世界へと導いてくれました。大学でコンクリートを専攻した後、ゼネコンに就職した私は、初めて配属された現場で、この言葉通りの魅力を体感しています。河川の氾濫を防ぐための高規格堤防の施工現場では、数万平方メートルに及ぶ工区内に、見上げるような大型重機を駆使して約2万本もの杭を打設。そのスケール感に圧倒されると同時に、日々、着実な進捗が実感できることに、大きなやりがいを感じています。まずは与えられた役割を着実にこなしながら、少しずつ業務範囲を広げ、現場への貢献度を高めていきたいですね。





Takaya Suzuki

ここに奮闘

現場で働く職人さんたちの力を“理想の建物”に結集させていく。

鈴木 貴也さん

建築施工管理 | 2019年入社

就職活動にあたっては、市役所と設計事務所、ゼネコンの3カ所でインターンを経験。そこからゼネコンを選んだのは、一人でコツコツ頑張るよりも、仲間とワイワイしながら取り組む仕事に魅力を感じたからでした。実際に施工管理の仕事に就いて感じたのは、自分の考えを周囲に理解してもらう難しさ。当初は歯がゆさも感じましたが、現場の職人さんたちとイメージを共有できたとき、自分の力だけでは到底できなかった“理想の建物”が実現できることを実感しました。施工管理という仕事は、現場で働く多くのプロフェッショナルを1つの方向にまとめていく司令塔。その役割を果たすためにも、周囲から「コイツのいうことを聞いておけば間違いない」と思ってもらえる存在になりたいですね。



インタビュー 奮闘編

建設業界の未来を担う若手社員たちは、日々、何を考え、何を目指して働いているのか。
最前線で活躍する4名に本音で語ってもらいました。



ここに奮闘

自分たち若手の力で建設業界の魅力を高めていきたい。

Tomohiro Murakami

村上 智洋さん

経営企画 | 2017年入社

法学部出身の私が就職先としてゼネコンを選んだのは、東日本大震災からの復興について学ぶ中で、建設業の社会的な意義に気づいたからです。入社後は総務、財務を経て、6年目から経営企画部門に。部内では最も若手なので、上司や先輩方に教わりながら、経営会議の準備や運営などに携わっています。経営層と接する機会が増えるにつれて、経営的な視点から会社や建設業の将来を考える機会が増えましたが、特に意識するのが、従業員にとって働きやすい環境づくり。少子高齢化に伴う人手不足をはじめ、社会環境が変化する中で、建設業の社会的責任を果たし続けていくために、私たち若手が率先して課題に向き合い、より魅力的な職場環境を実現していきたいと思っています。



原野 紗都子さん

建築施工管理 | 2019年入社

「唯一無二のモノづくりがしたい」との思いからゼネコンを志望した私ですが、具体的な仕事内容を理解したのは就職活動も終盤のこと。当初は机に座って図面と向かい合う仕事をイメージしていましたが、実際は施工管理として現場の職人さんたちと連携しながら建物を竣工へと導きます。「自分に務まるだろうか」との不安もあったものの、面接での「それだけコミュニケーション力があれば大丈夫」との言葉に背中を押されて入社を決めました。初めて配属されたのは大規模商業施設の建設現場。与えられた役割をこなすだけで精一杯でしたが、1年半後にプレオープンを迎えたときは、思わず涙がこぼれていました。このときの感動を忘れず、人々の生活の一部となる建物をつくり続けたいですね。



ここに奮闘

誰かの生活の一部になる建物をつくり続けていきたい。



Satoko Harano

アンケートから見える
建設業のホンネを紐解く



建設業社員の 衣食住＋遊

**建設業で働く若者たちは、普段はどんな生活を送っているの？
衣食住から遊びまで、プライベートに迫ってみましょう。**

衣

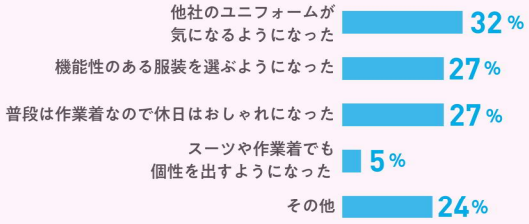




- 自社の作業着のデザインが気に入っていて、他社の作業着を見る度に、改めて「この会社で良かった!」と感じています。
- 普段は作業着を着ているため、プライベートでは小綺麗な恰好をしたいと思うようになりました。
- 作業着姿を身近に感じるようになり、街中で見かけると「暑い中、寒い中お疲れ様です!」と心の中で呼びかけています。

建設業に入って「衣服」について変わったことは？

（全回答者に占める割合／複数回答可）



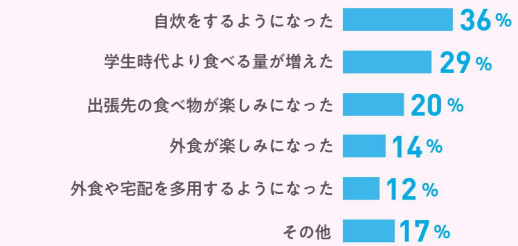
食



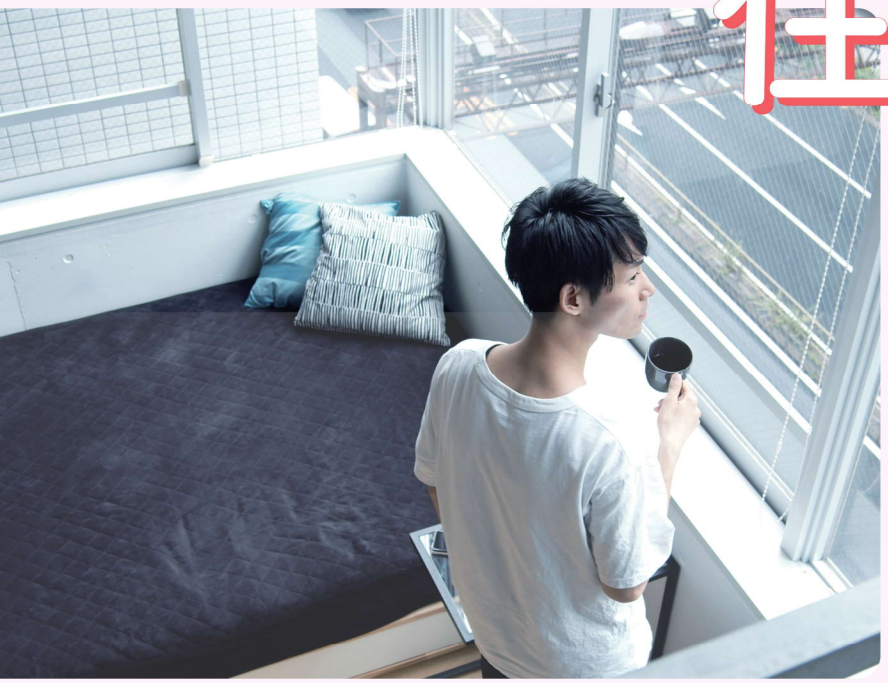
- 体力を使う仕事なので、学生だった頃よりも、朝ご飯をしっかり食べるようになりました。
- 一人暮らしを始めて自炊をする機会が増えましたが、料理が苦手だったので料理教室に通い始めました。
- 出張するたびに、その土地ならではの「名物」に出会えるので、出張が楽しみになりました。

建設業に入って「食事」について変わったことは？

（全回答者に占める割合／複数回答可）



住



- マンションの購入者などと接する中で、「自分の家を持ちたい」という夢が格段に大きくなりました。
- 建設中の工事現場の前を通り掛かった際に、どんな建物ができるのか気になるようになりました。
- 引越し先を検討する際に、ハザードマップを見て、洪水や土砂災害の危険性をチェックするようになりました。

建設業に入って「住まい」について変わったことは？

（全回答者に占める割合／複数回答可）



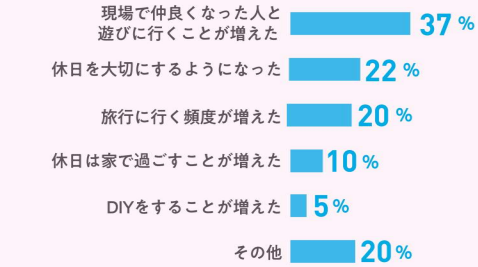
遊



- 終業後に現場のメンバーと食事したり、遊びに行ったりしています。夏は河原でバーベキューをするなど楽しい時間を過ごしました。
- 学生の頃、予定のない日は家でダラダラしていましたが、働き始めてからは限られた時間を有効活用しようと意識するようになりました。
- 現場で色々な器具類や資材を覚えて、DIYできるようになりました。

建設業に入って「遊び」について変わったことは？

（全回答者に占める割合／複数回答可）





建設業の未来に向けた2つの変革

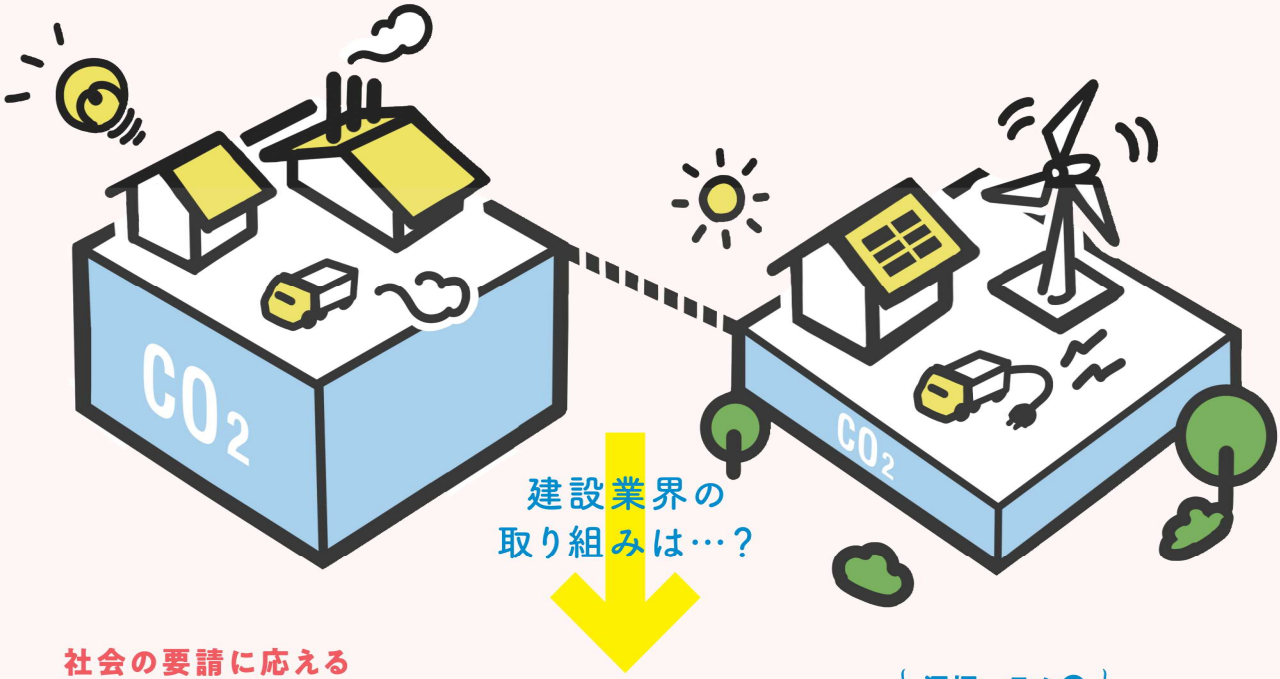
Change for

環境変化や技術革新を背景に、近年、大きな変革を遂げつつある建設業。
より豊かな社会を実現するために、そして建設業そのものが進化するために、
2つの変革に向けた挑戦を紹介します。

Change 1

脱炭素社会への挑戦

近年、地球温暖化に代表される気候変動問題が深刻化しつつあります。
その対策として、省エネや節電、再生可能エネルギーの利用拡大などを通じて、
二酸化炭素（CO2）など温室効果ガスの排出を抑制する「脱炭素」の動きが世界的に広がっています。



社会の要請に応える
省エネ性能の高い建物づくり

2022年6月に改正建築物省エネ法※が成立するなど、建築物にいっそうの省エネ性を求める動きが強まっています。日本の建設業では、こうした規制に対応するのはもちろん、発注者や利用者・居住者のニーズに応えるために、早くから建物の省エネ化に取り組んできました。近年では、脱炭素に寄与する建物を提案することが建設業界の使命と捉え、太陽光発電などによる創エネと省エネを組み合わせて、建物内で消費するエネルギーを実質ゼロにする「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の性能向上と普及拡大に取り組んでいます。

※正式名称は「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」。

深堀コラム❶

建設業のSDGsへの取り組み

昨今、目にする機会が増えたSDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略。2015年9月の国連サミットで採択された国際的な目標であり、2030年までに達成を目指す17の開発目標が設定されています。日本でも政府や企業、自治体などが取り組んでおり、建設業界もSDGsに関するミッションを掲げるなど、業界を挙げて目標達成を目指しています。



Future

Change 2

デジタル・トランスフォーメーション 建設DXへの挑戦

近年、幅広い産業分野で注目されるDX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、
先進のデジタル技術を駆使して、製品やサービス、ビジネスモデルなどを大胆に変革させること。
企業はDXに取り組むことで、環境変化への対応や競争優位性の向上を目指しています。



建設業界の取り組みは…？

建設業を取り巻く課題解決に向けて加速する建設DX

建設業では、生産性や安全性の向上、従業員の働き方改革、労働人口の減少による人手不足への対策などを目的として、デジタル技術を積極的に導入。タブレットによる工程管理の高度化や、IoTによるデータ収集、ロボット／ドローンの活用など、様々な取り組みが進められています。政府もICT（情報通信技術）を活用して建設現場全体の生産性向上を目指す「i-Construction」を国土交通省の主導で推進するとともに、3Dデータの活用で効率化を図る「BIM／CIM※」を2023年までにすべての公共工事に適用するなど、建設DXを後押ししています。

※BIM（Building Information Modeling/Management）は建物のデータ活用、CIM（Construction Information Modeling/Management）は土木のデータ活用を意味する。



深堀コラム❷

コロナ禍が加速させたDX



近年、テレワークが一気に普及した背景には、2020年から広がったコロナ禍があります。それ以前から推奨されていたものの、変化を嫌いがちな国民性もあって、なかなか普及しなかったテレワークなどのデジタル化が、行動制限や接触機会の削減といった社会の要請を受けて、否応なく導入されました。社会や経済に大きな打撃を与えたコロナ禍には、DXを加速させる効果もあったのです。

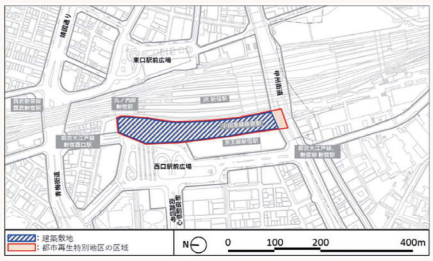
建設業の“つくる喜び”はココにある！

ビッグプロジェクト

建設業で働く魅力の1つが、仕事の成果がカタチに残ること。
なかには個々の建物単位でなく、街そのものが成果という場合もあります。
そんな“晴れ舞台”とも言えるビッグプロジェクトの数々を紹介します。

新宿駅西口地区再開発

本計画は、新宿駅西口に位置し、敷地面積約1.6万㎡を活用しており、計画する建物の延床面積は約28.2万㎡です。地上48階建てで、高さは約260m、高層部にはハイグレードなオフィス機能、中低層部には新たな顧客体験を提供する商業機能を備えます。オフィス機能と商業機能の中間フロアには新宿の特性を生かして来街者と企業等の交流を促すビジネス創発機能を導入しイノベーションの創出を図るとともに、低層部にはビジネス創発の情報や新宿をはじめとした小田急沿線、東京メトロ沿線等の情報を発信する機能を設けます。





小田急電鉄・東京地下鉄より提供

ビッグプロジェクト年表

2023年



麻布台ヒルズ

延床面積約861,500㎡、緑に包まれ、人と人をつなぐ『広場』のような街、-Modern Urban Village-をコンセプトに、オフィスや住宅、ホテル、インターナショナルスクール、商業施設、文化施設など多様な都市機能を備えます。

2025年



日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業

業務機能・商業機能・業務支援機能等の一体整備や日本橋川沿いの良好な水辺環境の創出などにより、日本橋エリアの魅力・活力を向上する都市機能の更新を行います。

2027年度



TOKYO TORCH（トウキョウ トーチ）

東京駅日本橋口前で、敷地面積約3.1haに及ぶ大規模再開発が進行中の「TOKYO TORCH」。大手町と丸の内、八重洲、日本橋の結節点となり、多彩な人々を迎え入れるための空間づくりが進められています。

紹介



渋谷二丁目西地区再開発

渋谷駅の東側に所在し、JRおよび東京メトロ「渋谷」駅に近接する交通利便性の高い立地で、延床面積の合計は約322,200㎡と、渋谷エリア最大規模の計画となっています。次世代の代表的なプロジェクトと捉え、2029年の竣工を目指して進めています。





内幸町一丁目街区完成イメージ

内幸町一丁目街区開発計画

当街区は、都心最大級の延床面積約110万㎡の開発プロジェクトであり、約16haの日比谷公園とつながるとともに、北地区・中地区・南地区の3つの地区で構成し、オフィスや商業施設、ホテル、住宅機能等を備える予定です。

2029年



世界貿易センタービルディング　プレスリリースより

浜松町二丁目4地区A街区

当初の都市計画提案における整備に加え、観光拠点など新たな整備を行い、陸・海・空の交通結節点である浜松町に相応しい拠点づくりを行っていきます。

2031年



愛宕地区第一種市街地再開発事業

UR都市機構が行う市街地再開発事業です。愛宕山の歴史ある自然環境と一体となったオープンスペースの整備、居住機能を中心とした複合ビルの建設などが行われます。

2040年



出典:首都高速道路(株)

首都高速道路日本橋区間地下化事業

今後を見据えた構造物の長期的な安全性を確保するため、まちづくりと一体となって現在の高架から耐久性と維持管理性を備えたトンネル構造へとリニューアルを進めています。

※図は首都高が地下化され、高架橋を撤去したイメージです。
再開発の計画は現時点の情報を基に作成したイメージです。

「女性が働きやすい」環境づくりへ



女性社員に聞いてみよう！



鈴木 絵理さん

当初は住宅メーカーを志望していたが、あるゼネコンの構造見学会への参加を機に、多様な建物に携われることや、雰囲気の良さに惹かれて同社に入社。現在は職場の先輩と結婚し、三児の母として仕事と育児を両立中。



初めての子どもを授かったのは入社3年目のこと。当時は施工管理を担当しており、上司に妊娠を告げ、産休・育休を取ってまた復帰したいと相談した時は緊張しました。しかし、「おめでとう！」と祝福してもらえ、「温かい会社でよかった」と改めて感じました。

育休中は初めての育児や保育園探しで大変でしたが、復帰した際は、また社会とつながれることが嬉しかったです。育児との両立に苦労は尽きないものの、夫や職場の皆さんのサポートもあり、仕事を続けることができました。

その後、2人目3人目を授かり、子育てとの両立を考慮して、受付業務や広告関係の部署に異動しましたが、現場監督として建設業の最前線にいた経験がとても役に立っています。一方で、子どもの発熱などに備え、常に時間の使い方や仕事の優先順位を意識して働くようになり、かえって生産性が高まったと思います。また、コロナ禍でリモートワーク環境の整備が進み、子どもを看病しながら仕事をすることも可能になり、さらに働きやすくなりました。

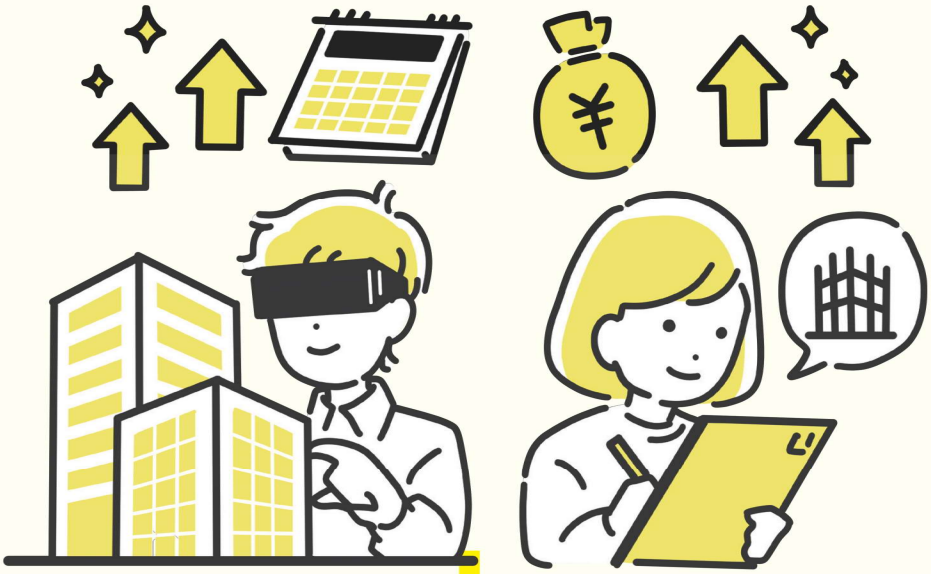


仕事と育児を両立する上で「周囲に頼ること」「できるだけ具体的にどうしてほしいかを伝えること」が大切だと思います。職場でも家庭でも、周囲の人たちは「何かあれば助けてあげたい」と思ってくれているもの。一人で抱え込まずに、自分から「助けて！」と声を上げることの重要性に、最近になって気づきました。

建設業が働きやすくなっているってほんと？

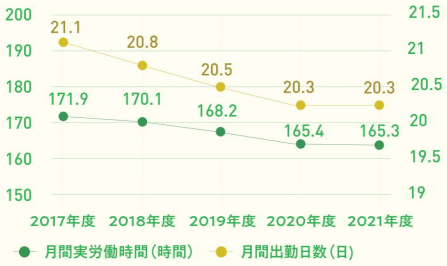
「仕事がキツイ」「休みにくい」といったイメージをお持ちの方に、建設業界の最新動向をご紹介します。

「長時間労働」と「人材不足」の解消へ



データを調べてみよう！

グラフ1：
建設業の月間実労働時間と月間出勤日数
※厚生労働省のデータから作成（事業所規模5人以上）



グラフ2：
建設業の月間給与額
※厚生労働省のデータから作成（事業所規模5人以上）



建設業界に対し、「残業が多い」「休日が少ない」といったイメージは根強いものがあるようです。かつてそうした状況があったことは否定できませんが、グラフ1に見られるように、近年では建設業界でも「働き方改革」が進んでおり、実労働時間や出勤日数が年々減少を続けています。

加えて、労働基準法の改正により、これまで建設業界では猶予されてきた、時間外労働の上限規制（月45時間、年360時間）が2024年4月から適用されるため、建設業における時短化はさらに加速することが期待されています。

すでに日本建設業連合会では2022年3月に「時間外労働削減ガイドライン」の策定と合わせて自主規制目標を改定し、上限規制に前倒しで対応できるよう取り組んでいます。また、テレワークなどICT化による効率化も進んでおり、働きやすい環境づくりは着々と実現しています。

一方で、少子高齢化による就労人口の減少を背景に、建設業の担い手不足は今も続いています。今後も駅周辺での再開発プロジェクトや、災害に強いまちづくりなど、建設ニーズは堅調に推移すると見られていることから、優秀な人材を確保し、定着してもらおうと、グラフ2に見られるように、建設業界の平均賃金は上昇傾向にあります。ここ数年はコロナ禍の影響もあって足踏み状態ですが、2021年度の全産業分野の平均値（319・461円）と比較すれば、待遇に恵まれていることは明らかです。

就職先として建設業界に興味をお持ちの方は、こうしたデータも参考にしてみましょう。

組織のマネジ





50代~



40代

広い視野で会社を動かす

所長／部長

組織の中枢を占めるポジションに就き、会社や業界、それらを取り巻く社会を俯瞰的に見つめながら、さらなる成長や課題解決に向けた方針・戦略づくりに取り組みます。これまでとは段違いの重責を負いますが、得られる充実感・達成感も大きなものがあります。

職種別モデルケース





わたしたちのキャリアをお話します!

技術職（土木・建築）の場合

入社1年目

新入社員研修で社会人として必要な知識を習得後、現場に配属され、現場で先輩社員に施工管理・工程管理・品質管理を学ぶ。

入社5年目

一人で現場を管理できるように、現場の段取りから書類作成まで、小規模な工事から担当。成長速度に応じて、担当現場の規模が大きくなる。1級土木（建築）施工管理技士の資格取得をめざす。

入社7年目

規模の大きな工事や多様な工種を担当し、経験を積む。技術士、1級建築士など更に高度な資格取得をめざす。

事務職の場合

入社1年目

新入社員研修で社会人および建設会社の事務職として必要な知識を習得後、現場や事務センターに配属され、コミュニケーションの基本的な力を身につけ、業務遂行能力を高める。

入社5年目

仕事を進めるうえで他者と円滑なコミュニケーションを行い、効果的に仕事を進めるために必要な考え方やスキルを習得する。さらには、周囲を巻き込んで課題を解決する能力を習得する。2級建設業経理士の取得をめざす。

入社7年目

大規模現場の事務をこなすことができる一人前の事務職となる。事務職であっても指示された仕事をただ処理するのではなく、能動的に働く姿勢が求められる。また将来的に本社などの専門部署に配属されることを前提としてより高度な知識を身につける。1級建設業経理士、宅地建物取引主任者の取得をめざす。

建設業界

キャリアパス

未来への一歩を踏み出そう

就職にあたって誰もが思い描くのが、その会社に入社して働く自分の将来像。5年後、10年後、さらには20年後、どんな職場で、どんな役割を果たしているのか？　なかなか想像が難しい将来の姿をイメージできるよう、モデルケースを紹介します。



まずは基本を身につける

現場担当／新入社員

多くの知識・経験が求められる建設業界では、入社当初の5~10年は育成期間。できるだけ多様な経験を積めるよう、多くの会社がジョブローテーションを設定しています。数年ごとに異なる現場に配属され、上司や先輩の指導のもと建設業の基礎を身につけます。



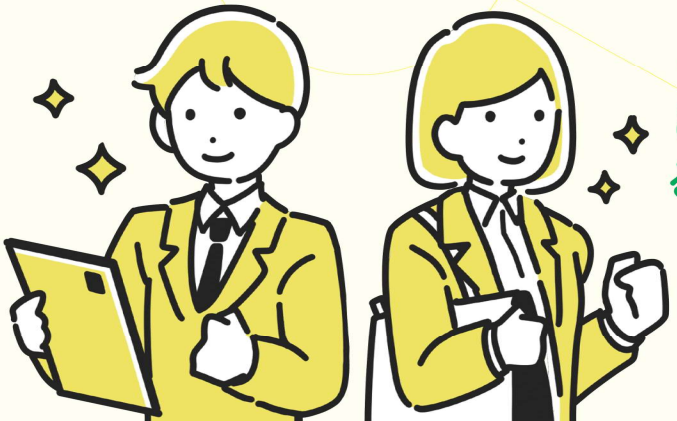
30代

現場の司令塔へと脱皮

現場主任／係長

入社から10年近くを経る頃には、複数の現場で経験を積み重ねるとともに、必要な資格も取得し、上司や先輩に動かされる立場から、多くの人を動かす立場へと脱皮。知識やノウハウに加えて、周囲とのコミュニケーション力や信頼性も問われます。

20代



メントを担う

工事長／課長

施工現場という“最前線”で経験を積み重ねた後は、個々の現場だけでなく、多くのプロジェクトを統括するマネジメント職へとシフトしていきます。人を育て、組織を育てることも重要な役割であり、より広い視野と深い知識、何より豊かな人間性が求められます。

奥深い建設業を究めていきたい



現在、入社4年目で2つ目の現場を経験中です。最初の現場は初めてのことばかりで、上司や先輩に仕事はもちろん、社会人としての基礎から教わりましたが、今の現場では鉄筋工事を担当。現場状況に合わせた図面の修正から、必要な資材の発注および確認、現場での施工管理までをトータルに担っています。専門知識を求められる仕事だけに毎日が勉強ですが、資料や参考書からだけでなく、現場の職人さんから教わることも多々あります。職人さんは私より経験豊富な方ばかりなので、施工にあたっても「上から目線で指示を出す」のでなく「やりたいことを伝えて知恵を借りる」というスタンスを心掛けています。なかにはキャリア40年を超えるベテランもいますが、その方が「今でも知らないことが多い、勉強しなくちゃ」と話していて、驚かされると同時に、自分の未熟さを痛感しました。建設という奥深い仕事を究めていけるよう、これからも日々、勉強です。

井樽 直也さん

土木施工管理 2019年入社。幼少期、土木関係の仕事をしていた祖父に連れられて施工現場を見学し「カッコいい!」と感じたのが建設業を志したきっかけ。大学では土木を専攻し、卒業後はゼネコンに入社した孫を見て、祖父も目を細めているのだとか。

出社

朝の準備がその日の仕事の質を左右するので、早めの出勤を心掛けています。



8:00 朝礼

当日の注意事項を確認。月に1度は司会が回ってくるので、何を話そうか頭を悩ませます。



9:00 現場巡回

現場の品質や進捗、安全などを確認。職人さんとの対話を深めるよう心掛けます。



10:00 測量・位置出し

日々、変化する現場のカタチを数値として記録。進捗を“見える化”します。



12:00 昼食

食事は午後からの仕事の活力。残さず食べて、しっかり休息を取ります。



13:00 昼礼

社員と職長による進捗確認。情報共有を密にすることが施工管理の基本です。



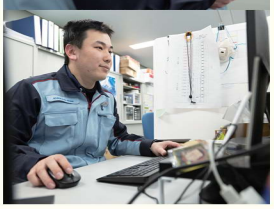
15:00 計画・検討

現場の状況次第では図面修正が必要な場合も。工事品質を左右する重要な仕事です。



18:00 書類作成・整理

建設現場では意外なほど多くの書類作成が必要。効率よく終わらせて、早めに帰宅します。



社員の一日ってどんなだろう？

若手社員インタビュー

行動編

実際の建設現場において、若手社員たちはどんな役割を担い、何をやりがいにして、どう行動しているのか？一日のタイムスケジュールと合わせて紹介します。



伊藤 七奈星さん

建築施工管理 2021年入社。
子どもの頃、住宅リフォームをするテレビ番組を見て建設業に興味を抱く。当初は住宅メーカーを志望するも、高専で建築を学ぶなかで、より大規模な建物ができあがるのを間近で見たいとの思いが強まり、ゼネコンに就職。

職人さんたちの“現場愛”を育みたい

「現場は人がつくるもの」。初めて配属された現場で、先輩から言われた意味が、最近ようやくわかってきました。建設現場では日々、多くの職人さんが働いており、彼らの力を抜きに建物は完成しません。こうした職人さんたちとコミュニケーションを取りながら、現場を管理するのが施工管理という仕事。そこで問われるのが対話の質です。忙しいからといって職人さんへの指示や説明が雑になってしまうと、意図が伝わらないのはもちろん、職人さんのモチベーション、ひいては施工の質を下げることにもつながりかねません。職人さんに「この現場のためなら！」と思ってもらうことが、私たちの使命だと肝に銘じて、みんなが気持ちよく働ける現場づくりに励んでいます。

出社

出社すると、まずは作業着に着替え。安全具を身に着けると気持ちが引き締まります。



8:00 朝礼

一日の始まりに現場での注意事項周知を徹底。ハキハキとした朝礼を心掛けています。



9:00 現場巡回

職人さんたちと対話しながら作業内容や進捗を確認。一体感を育む時間でもあります。



11:30 昼礼

各工程を担う職長さんに集まってもらい、今後の作業内容について確認します。



12:00 昼食

昼食をとった後は昼寝をして、午後からの現場巡回に備えます。



15:00 計画・検討業務

今後の計画書や資料など作成。いかに分かりやすい資料にするかが問われます。



16:00 所内打ち合わせ

数日後までの作業内容や現場配置の打ち合わせ。所長や先輩の視野の広さに驚かされます。



17:30 デスクワーク

その日の作業状況を日誌にまとめ、明日の準備が終わり次第、帰宅します。

知っておけば安心！

建設業 用語集

建設業界では、一般ではあまり耳にしない言葉も飛び交います。いざ入社してから戸惑わないよう、ぜひ、覚えておきましょう。



【ゼネコン】
総合建設会社（ゼネラル・コントラクター）の略称。国や官公庁、民間企業などから元請けとして土木、建築、設備の一式で発注を受け、工事全体を取りまとめます。

【施工管理】
土木や建築などの工事が法律に則り安全・確実に、また設計図通り、スケジュール通りに行われているかを監督する仕事です。

【一級施工管理技士】
現場監督となる施工管理技士の国家資格の中でも難しい資格。この資格を取得することが〝一人前の証〟になります。

【意匠設計】
建築物のデザイン設計のことで、依頼主や使用者の満足度を大きく左右します。図面上での設計と現場での調整を繰り返すため、専門的な知識とセンスが求められます。



【ZEB】
「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略で、快適な室内環境を維持しながら、建物内で消費されるエネルギー収支を限りなくゼロにすることを目指した建物のこと。脱炭素社会の実現に向けてさらなる普及が期待されています。

【BIM/CIM】
「ビルディング／コンストラクション・インフォメーション・モデリング（マネジメント）」の略。3次元モデルを利用し、建設現場の効率化・高度化を図るワークフローを指します。

【ラーメン】
建物の構造形式の一種で、床を支える柱と、その柱を水平につなぐ梁（はり）の接合部分を頑丈にする構造です。由来はドイツ語の「Rahmen（額縁の意味）」で、麺類とは関係ありません。

【ドーナツ】
鉄筋コンクリート工事において、型枠と鉄筋、また鉄筋同士の間隔を確保し、構造物の耐久性を保つための道具。由来は、皆さんも大好きなお菓子と形が似ているため。

【竣工式】
建築物の工事が無事に完了した際に、神様への報告と感謝の気持ちを表すために行う儀式のこと。参加すると厳粛な気持ちになります。

【盛土】
もともとの土地の上に、新たに土を盛ること。低い土地を高くしたり、平坦な地表を作ったり、様々な目的で行われます。

【山留め】
地盤を掘削する際に、周辺の地盤に影響が出ないよう、鉄板や杭などを設置する工事のこと。

【地盤調査】
建物などを建てる前に、その土地の地盤が建物の重さに耐え、沈下しないかなど、安全に建てられるかを調べる工程のこと。

【ねこ】
「一輪車」や「手押し車」のことで、「ねこ車」とも呼ばれます。由来は、逆さにすると丸まった「ねこの背中」のように見えることから。現場で「ねこを持ってきて」と言われても、ペットショップに行く必要はありません。



今からでも安心！

0（ゼロ）から分かる建設業

建設業に興味はあるけど、詳しいことはわからない…
そんなあなたの不安や疑問を解消するため、建設業のキホンを解説します。

あなたの疑問にお答えします！

Q&A

今さら聞けない、聞きづらい
素朴な質問にお答えします。

Q そもそも建設業って何？

一口に「建設業」と言っても、幅広い分野が含まれています。大まかには、建物をつくる「建築」と、その土台となる地盤をはじめ、道路や橋梁などのインフラをつくる「土木」に分けられます。さらに詳しく言えば、設備や内外装、配管などの要素があり、それぞれの専門家が活躍しています。



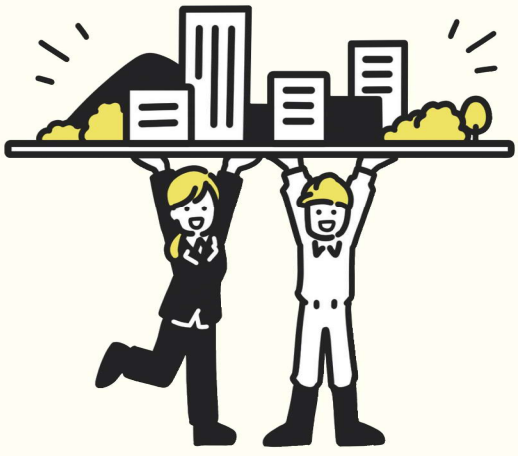
Q 文系出身でも大丈夫？



建設業に入社するのは建築系や土木系の学生だけと思っているかもしれませんが、実際に働いている社員の出身学部は多種多様。文系出身の方も、施工現場に限らず、営業や企画、事務など幅広い職場で活躍しているので、建設業に興味があれば、安心してご応募ください！

Q 社会でどう役立っているの？

建物づくりや街づくりを担う建設業は、私たちの暮らす社会に欠かせない存在と言えます。人々が安全・快適に過ごせる空間も、地震や台風などの災害に備えた施設も、さらには持続可能な社会も、建設業の知恵とノウハウ、そして努力によって支えられているのです。



自分の未来を。

これから社会に出て、どんな仕事をするのだろう？
まだはっきりとは見えない、疑問だらけの自分の未来。
視点を変えれば、それは無限の可能性があるということ。
一つひとつ疑問を解決した先に、目指すべき姿が見えてくるはずだ。

育児をしながら
仕事はできるのかな？



入社してから
自分は
どう成長するんだろう？



その疑問に
答えます!

つくろう、

建設業の雰囲気って
どんな感じだろう?



建設業ってどういう
仕事だろう?



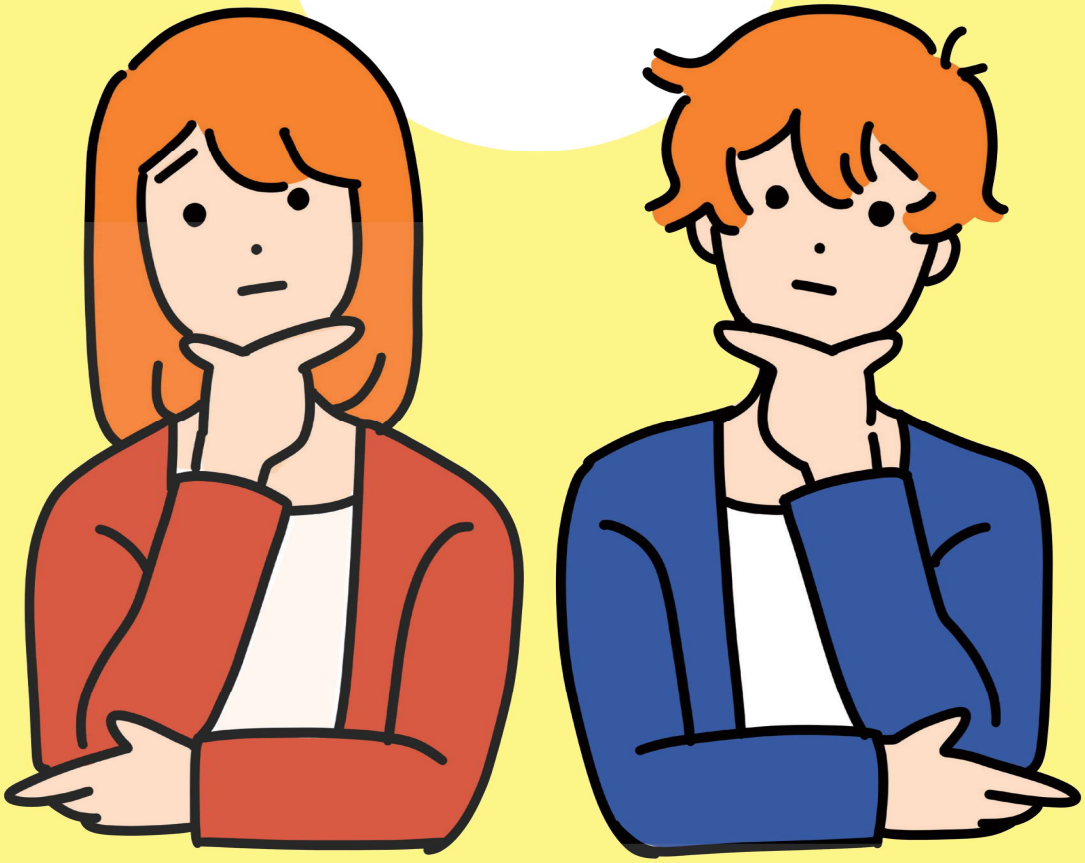
Books for Getting a Job in the Construction Industry

EDITION 2023

ビルドALL

迷っているあなたはこっちから

建設業界って
どんな
ところだろう？





まちこ
東京建設業協会
オリジナルキャラクター

みんなの建設業 就活ナビ
未来を築き、社会を支える

企画制作：事業委員会広報研修部会

一般社団法人東京建設業協会